絆

赤井むつみ後援会便り第59号

笑顔あふれる温かい町に！

2023年3月　発行

今回の一般質問

産業振興の行方は？

⑴　今は町が資金を出してウニ、アワビ、昆布、サーモンの養殖実験、ワイン用ブドウ栽培を行っていますが、どこがゴールとなり、それらの後継者は育っているのでしょうか？

⑵　この冬は酪農家の方のケガ等が多く、ヘルパー不足が生じていると聞きました。研修牧場がヘルパー的な役割を担えるのはいつ頃になるのでしょうか？

答　弁

⑴　サーモンの海面養殖事業はR6年の水揚げまで町として支援し、その後は熊石のサーモン養殖部会が自立運営をする。種苗生産は、町と企業が出資してサーモン種苗生産法人を設立して運営し、さらに陸上養殖も検討中。痩せウニ実入れ実験は落部漁協が主体となり、北大の指導・協力により、実入りのある商品価値の高いウニが養殖でき、利益が見込める状況で、今年度から自立化を目指す。熊石コンブ養殖試験事業は、R4年度から5年間実施予定でコンブ養殖の拡大、磯焼けの解消、ブルーカーボンの推進へとつなげたい。エゾアワビ養殖はR5年度から4年間、熊石地域で実施し、今後のアワビ養殖漁業の在り方を検討する基礎調査を行う。ブドウについては、新幹線札幌延伸までにワイナリーの建設、稼働を目指し、R5～6年度に、事業計画・基本構想等を策定する中で、事業規模、収支計画を検討。地域おこし協力隊を採用予定。

⑵　研修牧場稼働から間もなく2年目を迎えるが、経営を軌道に乗せることに注力し、研修部門の事業拡大が進んでいない。今後、経営の安定化や研修の充実を図り、地域全体の農業振興に貢献できるよう関係機関と連携し、サポートしていく。

※サーモン養殖全体にかかる費用➥１０億３千万円の予定です（陸上養殖は含まれていません）

機構改革が必要なのでは？

人口減少により各企業はもちろん、役場も働き手不足が喫緊の課題となっています。業務委託を含め、機構改革など、職員が足りなくても対応できる仕組みを早急に考えなければならないのではないでしょうか。他自治体の色々な取り組み等も研究し、今から取り組むべきでは？

答　弁

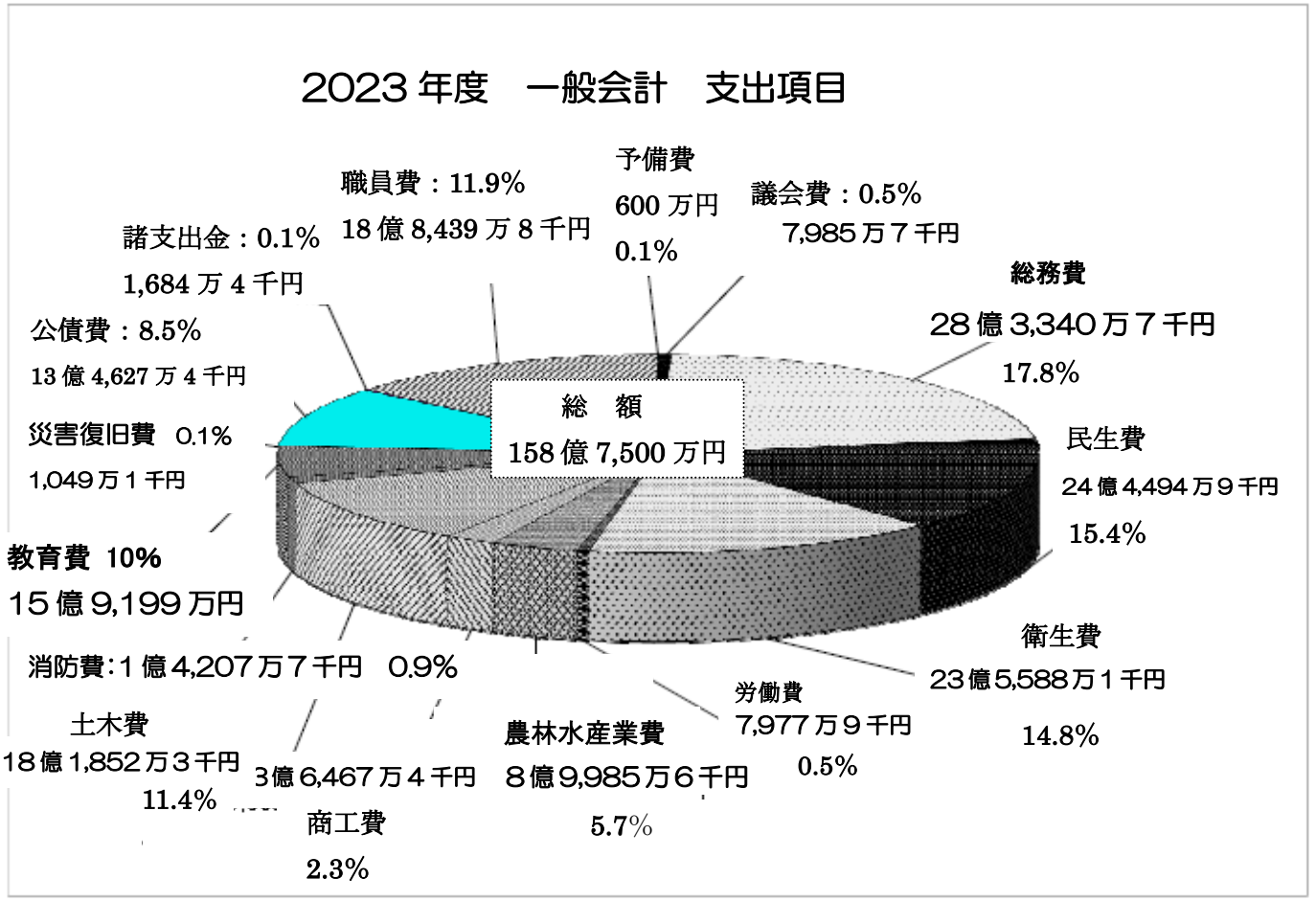
今後も必要な職員数を採用する努力をするとともに、業務内容の見直しによる組織改編やDXを推進することにより、適切な職員配置と業務の効率化に努める。また、熊石地域の「郵便局行政事務包括業務委託」の例もあり、引き続き効果的・効率的な行政運営を行うため、業務委託について調査検討を進めて行く。本来であれば、他自治体に研修に行かせたいところだが、職員数ギリギリでやっているので、難しいのが現実。でも、出来る方法でいろいろ学んでいきたい。

2023年度の予算決定！

３月の八雲町議会定例会では、予算特別委員会が設置され、2023 年度予算について審議し、本会議で下記の通り決定（可決）いたしました。

項　　目	２０２３年度予算額	２０２２年度予算額
一　般　会　計	158 億 7,500 万円	144 億 3,900 万円
国民健康保険事業特別会計	26 億 7,736 万９千円	27 億 137 万２千円
後期高齢者医療特別会計	２億 5,258 万８千円	２億 4,536 万３千円
介護保険事業特別会計	20 億 5,628 万６千円	20 億 6,888 万４千円
熊石地域簡易水道事業特別会計	8,684 万１千円	8,403 万５千円
下水道事業特別会計	11 億 8,727 万９千円	７億 7,404 万７千円
農業集落排水事業特別会計	２億 2,959 万７千円	１億 6,027 万９千円
病 院 事 業 会 計	80 億 9,784 万８千円	76 億 8,725 万２千円
水 道 事 業 会 計	６億 6,647 万８千円	５億 9,486 万２千円
合　　計	311 億 2,928 万６千円	287 億 5,509 万４千円

○　前年度比　23 億 7,419 万２千円　8.3%の増額となりました。
○　貯金（基　金）　約 118 億 9,490 万円（2022 年度末見込み）約１億５３３万円減
○　借金（地方債）　約 129 億 2,327 万円（2022 年度末見込み）約７億 4,948 万円減



主な内容

町民の安心安全、活力ある町を目指しています。
町民みなさまが、幸せを実感出来ますように！

＜一般会計の事業の一部と経費＞

総務費：前年度より２億 3,497 万円増えました（7.4%増）
熊石総合センター大規模改修事業：１億 6,874 万５千円（改修工事、工事管理業務、備品購入費他）
地域会館整備事業：１億 3,905 万５千円（内浦会館外部塗装工事、落部レクセン LED 化他、東野母と子の家新築工事、関内地域会館実施設計業務）

民生費：3,408 万４千円減りました（1.3%減）
子どものための教育・保育事業：４億 24 万７千円（保育園・幼稚園分）
障がい児通所等事業：１億 650 万５千円（児童発達支援施設、放課後等デイサービス他）

衛生費：１億 2,513 万２千円減りました（4.8%減）
渡島廃棄物処理広域連合負担金：１億 7,861 万８千円（可燃ごみ処理経費分）
八雲地域ゴミ処理関連業務委託事業：１億 6,528 万６千円（生ごみ含む塵芥収集業務他）

労働費：945 万８千円減りました（9.8%減）
U・Iターン就職奨励金事業：2,500 万円（U・Iターンで雇用された者に奨励金初年度 30 万円）

農林水産業費：9,450 万６千円増えました（9.9%増）
折戸野々畑線排水整備事業：2,460 万円（用水路改修工事）
ホタテ貝アイヌブランド化事業：１億 4,759 万円（日本海産の稚貝を噴火湾で育成する事業）

商工費：2,850 万５千円増えました（7.6%増）
平田内泉源管理事業：3,984 万円（非常用発電機油圧計ホース取り換え修理等）
中小企業育成資金貸付金：１億 5,500 万円（八雲商工会に預託）

土木費：３億 4,522 万５千円増えました（21.9%増）
新幹線建設関連町道橋面改修工事受託事業：２億 8,331 万９千円（町道咲来線の改修）
道路橋長寿命化事業：１億 9,943 万５千円（建岩橋撤去、音名川１号橋改修他）

消防費：7,445 万８千円減りました（11.6%減）
安全装備品整備事業：1,577 万７千円（新基準防火衣、救助活動用皮手袋）

教育費：９億 5,836 万円増えました（114.3%増）
八雲中学校大規模改修事業：７億 6,419 万５千円（校舎の老朽化に伴う大規模改修）
小学校校舎解体事業：7,586 万７千円（旧関内小学校校舎等解体）

公債費：687 万１千円減りました（0.5%減）（*これは、借金の返済にかかるお金です*）

職員費：1,681 万円増えました（0.9%増）

2023 年度は一般会計と特別会計、企業会計を合わせて**総額 311 億 2,928 万６千円の予算**となり、昨年より 23 億 7,419 万２千円（8.3%）増となりました。収入では地方交付税は 0.9%減の 51 億 5,806 万８千円、町税は 0.9%増の 19 億 9,888 万６千円を見込んでいます。

財務課より、新庁舎等建設事業に関わる資産の説明がありました。それによると、
2023 年度：１億 5,943 万９千円　　2024 年度：10 億 1,760 万円
2025 年度：18 億 7,300 万円　　2026 年度：33 億 5,200 万円で、約６４億円となります。もちろん、全額町費で支払うことはなく、いろいろと有利な起債を活用すると思いますが、人口減少と共に働き手も減り、ふるさと納税の金額も最も良かった頃の三分の一となっている現状を考えると、この先不安が残ります。何もしなければ経済も活性化しませんが、広大な面積と大きな病院を持つ八雲町としては、様々な状況を想像しながら慎重な対応も必要だと思っています。

気になる主な事業　（これからも要チェック！）

☆学童保育所敷地取得事業：６００万円
　さかえっ子クラブ（旧栄町会館跡）の土地、874.39 ㎡を財務省から購入

★旧すまぃる熊石施設整備事業：９５４万４千円
　鉄骨造２階建て 965.534 ㎡の建物を購入し、お試し住宅含む持続可能な地域社会づくりの取り組みの拠点とする。

☆旧熊石高校公宅（5 棟 11 戸）購入：2,166 万６千円
　町立学校教員住宅や、お試し住宅として活用予定。

★奨学金償還支援事業：184 万４千円
　八雲町に３年以上継続して勤務する見込みかつ定住する見込みがある人に月額２万円×３年間＆残り２年間は１/２補助。この事業は 2023 年度で終了。

☆U・I ターン就職奨励金事業：250 万円
　U・I ターンで正規雇用された人に対し、初年度３０万園の奨励金、２年目 20 万円の商品券。

★バイオマス利活用施設改修事業：5,478 万円
　屋根及び防虫ネット改修、ハンガードア取り付け工事

☆熊石地域エゾアワビ養殖試験事業：371 万９千円
　岩手県産エゾアワビ稚貝２万２千個を購入し、成長及び付加価値向上を目指す。

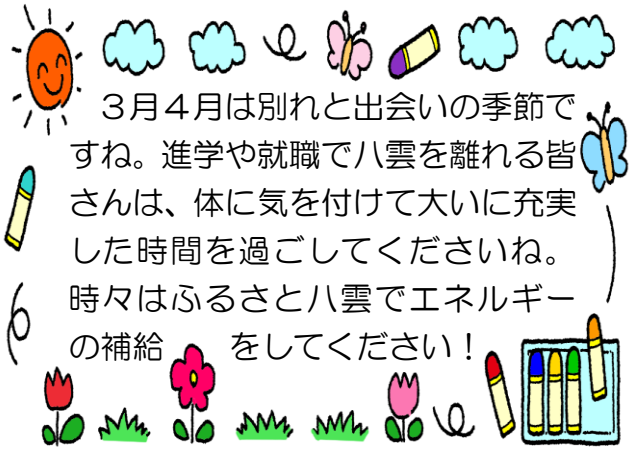
★熊石地域水産試験研究推進事業：1,083 万５千円
　北大水産学部との共同研究。研究対象は、アカモク等の藻類、魚類、ウニ、昆布

☆熊石地域サーモン養殖試験事業：2,852 万７千円
　ひやま漁協熊石支所「サーモン養殖部会」の養殖試験に対する補助（サーモン 15,000 尾）

★サーモン種苗生産施設整備事業：3,256 万８千円
　熊石サーモン種苗生産施設の増設に向けた各種調査・設計業務

☆サーモン養殖付加価値向上推進事業：494 万６千円
　(仮称)北海道二海サーモン養殖付加価値向上研究協議会への補助金

★町営住宅建設事業：１億 2,300 万円
　出雲町Ｄ団地解体工事　９棟４８戸



３月４月は別れと出会いの季節ですね。進学や就職で八雲を離れる皆さんは、体に気を付けて大いに充実した時間を過ごしてくださいね。時々はふるさと八雲でエネルギーの補給　をしてください！

雪解けもどんどん進み、いよいよ春ですね明るい話題ばかりではありませんが、みんなで情報共有し、お互いに支え合いながら少しでも幸せを実感できる日々を過ごせるよう努めます。皆さまからのご意見を大募集しております！

赤井むつみ後援会連絡先　八雲町住初町１２６
携帯電話＝０８０－５５８８-２０９０（赤井）
赤井自宅　栄町５６-１２（３区）　６３－２０９０　（FAX 兼）
メールアドレス　yuurappu@kta.biglobe.ne.jp　HP は『赤井むつみ』で検索を！